京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久路太

印刷人　松久紳一郎

發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

雜報

世界周遊談（下）

東京經濟協會に於て　角田眞平君演說

▲歐米の水道及下水道の設備　水道の完備して居るのは獨で、英、佛、米が之に次いで居ります米國のシカゴでは東京の八倍使ふ、七月八月頃は一ケ月に百七十萬石內外を使ふ紐育では東京の十二倍を使ふ、然し米國の水道は日本の水道より遙に惡いのであります、米國では日本の如く流して用ゆるに非ずして水を溜めて其上水を使ふのであります、佛は下水道設備が大きいと云ふよりは大墜道になつて居るので、其大墜道の內には下水管も含んで居るのでありまず、佛では濾さぬ水道の水で道路を洗ふ濾したのは飲用水に用ひて居ります之は水道の經濟から來たので、東京の如く濾した水を濾の水にしたり池水に用ゆると云ふは、贅澤の極であるから東京市では佛のやうにしたいのであります、紐育では下水の上水をば鐵管で之を海に送り、其殘つた泥を取つて居りますシカゴでは下水をば之に水を混じて堀を通して川に流して居ります、之が衛生上害なきやに就て大審院は之を正當と看做すと判決して居るそうであります、英國ではテームス河には一千噸の船が六艘用意してあつて、之が穢い物を海洋に運搬して捨てゝ居ります、其下水を濾すには凡そ二百五十坪で高さが九尺ばかり積んだコークスの上から下水を流して流すのであります、が其濾されたる水は極めて淸水で飲める程になつて居ります、併し其コークスは取替へなければならぬ非常に面倒なものだと思ひます、下水道の完備せるは伯林、倫敦、東京であらうと思ふ、倫敦でも國會議事堂の在る所は地盤が低いから此處にポンプを設備して其水を上げて居りますが、其下水の內に在る汚穢物をば二間四方位の金網が其下水道に下り居つて、之に汚穢物が溜れば機械で取るやうになつて居ります、東京でも此ポンプが日本銀行の前の埋立地に出來る筈になつて居ります伯林の下水道は十二あつて、其內十一は最早完成して居つて泥に完全なものです、下水を通る途中で汚穢物は太い棒にひつかゝり來るやうな仕組みで、之が機械の作用で粉砕されて肥料とする所に送らるゝのであります、東京でも下水を品川沖に流すと云ふとは隨分苦情が多いとであらうと思ひますから、水を濾して之を流す仕組にせんければならぬと思ひます、然し雨水は下水と共に濾す必要がないのでありますから、雨水は初めより川に流すやうにせんければならないのであります、それには下水道を幅二間高さ九尺と制限して雨水がそれ以上に流れ入る時は之を通り越して浸入せぬやうにすれば良いのであります、

▲露の道路　露では道路は丸い石で作つて居る、シベリアを通ると森林を多く見るが、露では棒の切口を上に出して之に板を張つて作つて居る、米國では松を騈列して作つて居るが、露では斯る贅澤の作り方をして居るが、之は露が木があるから算盤に合ふのでありましよう、但し露は道路だけは能く作つて居ります、

雄基灣の概況（三）

▲氣候　北朝鮮は大略北海道と同緯度に位すると雖も氣候は稍大陸的の處あり春秋二季は比較的短くして冬夏永く冬季は寒氣甚だしく河流の如き氷結して人馬の往來自由なるに至る夏季の暑氣は攝氏三十六七度に昇るを常とす又一日中に於ける變化も甚だしく殊に其激變を見るは冬季と夏期にして一晝夜數度の差を見ると珍らしからず而して寒暑共に數日に亘ること稀にして極寒二三日を過ぐれば四五日は稍や寒氣の和ぐを以て氷點下十數度の寒氣にも耐へ得べき場合なしとせず俗に三寒四溫と稱し其循環は割合に規則正しく來るものゝ如し然れ共夏期に於ける氣候の激變は驚くべきものあり今之れが實例を擧ぐれば內地は三伏の炎熱燒くが如き季節なるも同地は朝夕綿入を着用し尙雨天の日は溫突を焚きて室內を煖めざれば忽ち健康を害すること極て多しとす

●日宗婦人會の盛況

當地旭町三丁目日蓮宗布敎管理者護國寺主任加藤淸亮外數氏の發起に係り在留者多數の贊成を得て本月十三日盛大なる發會式を擧行したり同會は專ら婦德を涵養し作善を勸め平和の家庭を作らしむる爲め毎月十三日午後二時より會場たる護國寺に於て法話を爲すべしと云ふ今發會式の狀況を聞くに當日入會出席する者無慮二百餘名の多きに達し京城婦人界に於ける集合にして斯の如きは未だ其比を見ず同會前途の有望期して待つべし式は午後二時加藤權僧都數多の僧侶と共に莊嚴なる法要に初り發起人總代高橋武子開會を宣言し會員諸氏の祝詞演說等あり了りて來會者一同に茶菓を饗し陸軍々樂手菱田、倉田氏等の筑前琵琶、ヴアキオリン、蓄音器等の餘興あり五時過散會したり

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌（一五六三號）十月八日發行（東京々橋區彌左衛門町七同社十二錢）

▲日韓實業界（三卷十號）十月五日發行（東京赤坂溜池二同社十五錢）

▲全南實業要覽　十月七日發行（木浦商業會）

講談

大岡政談　越後傳吉

第百回　旭堂南陵講

そりやア踏く苦です縄附になつてるのは現在親の庄左衛門とはやの二人ですもの　庄「ヒエーッこりやア何うしたんだらうマア何うもこりやア不思議だ、傳吉をば罪に陥いれて宜い頤悔に行けば、傳吉の財産を手に入れるといふ万事の約束をして乃公ア江戸へ來てゐる身上、それに己も女房も死ぬ事になつてゐるから表面き音信が出來ねば、その間に都合よく問合せをやつて見やうと思つて居たが、マア何だつて乃父やれ母があんな姿になつたんだらう……アー、さうして見ると悪事は巧く行かぬものかナ、傳吉を無實の罪で殺さうとした仕事がやり損なつて、乃父やれ母が江戸三界まで送られてアヽいふ姿になたつとは些とも知らなかつたこりやア斯うして居られねヘ、矢ッ張り泉河原の人殺しが露顯れたんだらう、といつて今乃公が恐れながらと名乘つて出たからつて乃父やれ母が助かるか、イヤ助からねヘ、矢ッ張り親子四人が喰ひ込むのだ、こりやア名乘つて出る譯にも行かねヘし飛んだことが出來たわい」と悪人ではあるけれども親子の情愛には變りがない、ボンヤリといたして腕を拱ながら歸つて參りました[illegible]田源益の方、顔の色も何もありやアしません　庄「定めし越後邊から此御牢內へ入つて來る位だから……殊に村中の者は殘らず乃父やれ母を憎んで居るものばかり、誰一人好くいふ奴はなからうから御牢內に入つても三度の盛相の外何一ッ差入物もなからう、切めてのこゝに乃父の手に何かの品物でも差入がして遣りては、乃公の名前は出すことが出來ねわけれど、金子さへありやア家主の金兵衛さんの名前で……人の名前でも籍て入れて遣つたら、切めて子たるものゝ盡くす道ぢや、アー、何うしたら宜からうなア、差當つて今この庄兵衛にやア一文の金子もなし、漸うその日の給金を貰つて女房のうめとその日を過して居る情けない身の上だ殊に彼女はもう二月經たら子が産れる乃公の難儀な處へ持て來て擱て加へてこの始末、アー……」それやこれやが胸に遍つて道を歩いても空を歩いてるやうもの　源「オヽ庄兵衛さんぢやアねヘかどうした〳〵オイ何處へ行くんだね　庄「オッ旦那さんで……源「旦那さんぢやアない何をボンヤリ考てるんだね金子なんぞ持てボンヤリ歩いたら、江戸にやア掻ッ拂ひといふ奴が幾らもあるぜ、江戸といふ所ア活馬の眼を拔くといふほどな恐ろしい所だ、れ前の懷中にやア金子があるんだ、乃公い金子が……サア聞んねヘ待てるんだ　庄「長史りました　源「何うしたんだ、顔色が大變惡いおやアないか、風邪でも引いたのか　庄「有難うございます　源「もう身體が大切だから」源益に勵まされて歸つた庄藏の庄兵衛金子の勘定をばチャンといたしまして源益の前へ出す　源「イヤ大きに御苦勞さん、良公の奴は何うなりました　庄「へ、あれは今晩勞々此方の方から持て參りますと、斯機に申しました、エ、尤も叔父の方から金子は出ることになつたから、元利ともれ返し申すと、斯ういつて當人は立派に申して居りました　源「アヽさうか彼奴は人間が正直だから、ナーニ滯つても造作はねヘ、彼奴は腕前もあるし、親類が宜いから何うでも都合が付くだらう　庄「成程ど　源「それから益出屋の方は何うなつた　庄「へイ、あれは一向埓が明きませんので、隨分手嚴しい縣合をいたしましたが、私共のいふことは先方の奴が馬鹿にして居るぞ見ねます、矢ッ張りこれは先生に行つて貰ひませんとなか〳〵寄越しません　源「さうだよ、なか〳〵彼奴は確乎して居るれ前も確乎してゐるけれども何といつてもマア越後ッ兒だ、ナア彼奴も鉛と思つて馬鹿にして居たが矢ッ張り銀かナマア乃公が行つて勝山の熊を放り出さなくちやア埓が明かねヘだらう、マア宜い、徳田屋の方は今晩行くことにしやう　庄「左様でござりますか　源「濟まないけれども、其の集めて來た金の帳附だ、其所に帳面があるからそれを調べて置いといてくれ」

合併後の産業振興策（六）

エッチ、エフ、スウオンジー

卑見に依れば、朝鮮に於ける近時の産業不振は、政策の誤謬が與りて大に力ありと信ずる、誤謬とは産業に對する門戶の不開放と機會の不均等を意味す。凡て事業の發達には、一人よりも百人、百人よりも萬人の力を必要とする、國民擧つて力を産業に致すは即ち産業發達の最良方法である、而して國民をして力を産業に致さしむるには、國民の總体に向つて産業上の門戶を開放せねばならぬ、均等の機會を與へねばならぬ、門戶開放と機會均等とは實に産業政策の要義である。

然るに朝鮮の産業に對する日本の政策は遺憾ながら此要義に背ひて居る、事實が明に之を證明して居る、見よ、鐵道は政府之を獨占し、農業漁業の利權は東拓之を專有し、金融界には韓銀、農銀等の特典銀行あり、沿岸貿易は二三保護會社の占領に歸し、鑛山も鐵、石炭等優秀なるものは官廳自ら之を經營し、近くは製材、製鹽すら官營と爲し居るにあらずや、此の如く、産業界の各方面に於て、門戶を閉鎖し、機會を杜塞し、官府と特典會社の外は其門內に入るを許さずとすれば、如何にして思慮ある企業家や資本家が朝鮮の産業に指を染むることが出來るであらうか、到底其餘地がないと云はねばならぬ、好し餘地がありとするも、赤手を以て武器携帶者と競爭するの愚者はない筈である。

日露戰役收りて、日本が朝鮮の開發に手を着けてより既に六個年を經過して居るが、悲哉、産業上には未だ何等の著しき進歩を示して居らぬ、否、營業者の實際調査に依れば（稅關統計は年に依り計算の基礎を異にし信憑に價ひせず）農産物も鑛産物も却て其産額を減じて居る、是れ皆門戶閉鎖と機會不均等の弊果である、唯た比較的開放してあつた水産物だけは稍々殖へて居るが、之とても近く東拓や水産會社の利權壟斷に依り、今後或は衰頽に傾くかも知れぬ。

併合の景氣に連れて、近頃觀光團や視察員が大分渡來するさうであるが、彼等の目的は必ずや何か有利の事業を發見せんとするにあるであらう、然し今日の如く門戶が鎖され機會が塞がれてあつては、何物をも發見することが六ケ敷であらう、偶々發見し得ても既設の特典會社と對抗せねばならぬから結果は失敗に終ることゝ必然である。今や總督府の新設を好機とし、日本は宜しく自家既往の不成績と歐米の先例に鑑み、産業政策を根本的に改善すべきである、敢て外國人にとは云はぬ、少くとも日本國民即ち日本人と朝鮮人との總体に向つて産業上の門戶を開放し機會を均等にすべきである、産業の振興を計るには何よりも此根本政策の改善が先決問題である、門戶開放せられ機會均等となり、一視同仁の政策が實現せらるれば、玆に初て企業家も資本家も翕然として朝鮮に集り來るであらう、又既設の特典會社は保護と恩惠を喪ふ代りに、干涉と拘束を免るゝが故に自由自在に活動することが出來る、於此內外期せずして産業に力を致し其振興を促し得べきである。

産業の振興とは土地に向つて資力と人力とを加工するの意義に歸着する朝鮮の如き氣候風土の善良なる土地に於て産業の振はざるは、必覺するに加工の分量が足らぬからである、又其方法を誤つて居るからである、英米人の加工努力は印度や比律賓の如き瘴烟毒霧の裡に年々幾十億の産物を作り出すではないか、日本も須らく之に倣つて今より幾十倍の資力と人力を注入して大に朝鮮の産業を發展させるが宜しい、然し夫れにはドウしても門戶開放と機會均等なる大旆の下に、國民全体に向つて活動の自由を與へねばならぬ、少數の特許會社や官廳の力にのみ依賴するは西班牙や葡萄牙の覆轍を踏むものにして危險此上なしと云つて差支ない。

▲關税問題と外相　日英

東京電報

關税問題に關しては加藤大使と小村外相との間に意見を異にするものあり早晩何れか讓歩して決定すべきも其の程度にして日本の申出でを傷くるものある時は加藤大使小村外相何れの申條を正當と認むるも其の責任上小村外相は到底其の椅子に止まる能はざるべしと（十八日）

▲朝鮮開發と會社　朝鮮

朝鮮の産業開發の目的を以て前駐韓公使加藤增雄及土井通夫氏等の發起にて大日本勸業株式會社を設立する事に決定せり（同上）

▲凶作と朝鮮移住　宮城

宮城縣刈田郡圓田村附近は去る三十七年の凶作以來凶作打續き僅かに寒窒に依り生活し居たるも今回の水害にて極度の慘狀を蒙り到底回復の見込なきを以て朝鮮に移住すべく議纏まり總代三名は十六日新橋發列車にて渡鮮の途に就けり（同上）

▲生駒艦の歸着期　英國

英國派遣中なりし軍艦生駒は去る十六日新嘉坡を發し來る二十九日橫須賀に歸着の筈なり（同上）

▲寺內總督の消息　寺內

門司特電

寺內總督は昨十七日朝光濟丸にて無事馬關着官民多數の歡迎を受け春帆樓に一泊今十八日午前九時三十分馬關發國府津に向へり（十八日）

▲破天荒の大飛行　空中

紐育電報

飛行家ウエルコン氏は六名の隨行者と共に飛行船に乘じアトランチックを出發歐洲に向へり無線電信を裝置しある監視船よりの最近の報告によれば該監視船はウエルコン飛行船がアトランチックを去る百哩の東方を飛行するを認めたり天候晴朗なり太西洋飛行は十分成功の見込（十八日）

▲清國資政院の開設　休會

北京電報

中なりし清國資政院は今十八日を以て開會す（十八日）

▲資政院と國會速開　國會

國會速開代表者より資政院に提出したる請願書は之を受理せられたる旨報道せられたるが該問題に付き諮議局の云ふ處に依れば資政院の能力不明なる今日國會の事を云ふは早計なり議題に供せざる事に內定せり資政院が休會せるを利用し代表者は議題に供せしむべく激烈なる運動を開始したり（十七日）

雜報

李王家の新職制

併合後朝鮮統治は新官制によりてそれ〳〵施政事務の執行を開始し人材の配置も略決了し授爵恩賜金も大方相濟みたるが獨り王家の職制に至つては未だ發表せられず頭者傳ふる處によれば該職制の組立に就ては原案は極めて簡單なりしも實際の事情等を參酌し漸く其修正案も成立し目下其人材の任用等に時日を費やしたるも重もなるものは大方定りたれば兩三日中には發表せらるべき豫定なり。該制は殆んど前宮內府を幾何か縮少したるものと見て可なり其指揮命令は宮內大臣の下にありて行はるも總督は其監督の權限を有し日鮮人混合して職務を執るの形式を取り李王、李太王、李王世子、李堈、李熹の兩公の五殿下家憲を統一するの職制となり勅奏官の事務官を置き別に侍從數名をも置くことゝなり王宮の現狀に照らして稍急宜しきを得たりとの評あり、從て閔前宮內大臣を始めとして小宮前次官並に前宮內府官吏の大半は淘汰無くして任用せらるゝことゝなるべし

山縣總監の視察

山縣政務總監は十七日朝開城に行き同日午後六時五十二分南大門驛着さる

第一艦隊仁川廻航

上村中將の率ゆる第一艦隊は十七日午後五時釜山拔錨仁川に廻航する筈

東拓視察團の着期

東拓主催篤農家朝鮮視察團の一行十四名（內農商務省特派技師を含む）は二十日朝鳥致院發途中水原に立寄り同地農業模範場其他を視察同日午後五時二十分水原發同午後七時七分南大門驛着列車にて入京巴城館京城ホテル天眞樓其他に分宿翌二十一日午前十時一行は總督府を訪問し總督邸に於て午餐の饗應あり山縣政務總監の演說終りて午後より任意市中を見物する筈

●教育の方針と訓示

併合に伴ふ朝鮮人教育の方針に關しては屢報の如く目下當局に於て審議中にして或る一部分は既に決定せる由なるが是れと同時に教科書改訂も漸次其緒に就き遲くとも本年度の中には全部決定せん心算なるやにて四十四年四月の新學年よりは改訂せる新教科書により教育に充つる筈なり尤も全部の改訂を終了する能はざる時は訂を了したる部分と從來使用し來りし舊學部編纂乃至同檢定許可を得たる教科書に多少の斟酌を加ふる筈にして少くとも來學年よりは教育の上の面目を一新する由なるが又一方今回の併合によりて來るべき教育上差し當りの諸問題に關し朝鮮人の誤解を招き又は意外の弊害を來すべしとも限られざるにより速かに舊習慣を打破して新に着かしむる等のことを爲さしめ漸次地方慣習を矯正せしめんが爲めに今後の教育方針或は從來の教科書改修等に關し不日各學校に關して詳細なる注意書的訓示を發布する筈にして目下學務局にては該文に飜譯中なりといふ

●韓銀貨幣發行週報（自十月九日至十月十五日）

銀行券總發行平均高	一七、四一九、一三三
內正貨準備發行平均高	六、三一三、八二三
保證準備發行平均高	一一、一〇五、三一〇
硬貨發行高（十月十五日現在）	七、〇六九、三六七
內 金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九八二、〇〇〇
同二十錢	一、七六七、四〇〇
同十錢	一、三九九、八二二
白銅貨五錢	五八七、七五〇
青銅貨一錢	三〇二、六五〇
同五厘	七九、七四五

●定例長官會議開催

十八日午前十時より總督府に於て定例長官會議を開きたるが山縣政務總監、石塚取調局長官、荒井度支部長官、木內農商工部長官、有吉總務部長官、俵土地調査局總裁、宇佐美內部長官、大屋鐵道局長官、池田通信局長官、明石警務總長等の諸氏列席したりと

●王家と篤志觀農團

東洋拓殖會社誘致の篤志觀農團は二十日夜入京し二十一日纛島模範農場視察の後正午昌德宮に伺候し李王殿下に謁見敬意を表し終つて仁政殿東行閣に於て午餐を饗せらるゝ筈なりと

●商業會議所聯合會

在鮮商業會議所聯合會を十一月中旬より二週間の豫定にて京城に於て開催する筈にて今回は日韓併合後最初の會議にして各地方共商取引上に變動あり其爲に研究する問題少なからずと云ふ

●貴夫人觀光と女官

朝鮮貴族夫人の催に係る母國觀光團は既に相互の協議纏まり目下それ〳〵準備中なるが一行中には昌德宮奉仕の女官三四名之れに加はる筈なりと云ふ

●農事視察團歡迎會

古城菅堂、和田常市、趙鉉泰氏其他の有志者は別項二十日入京する農事視察團員四十八名を二十一日午後五時より京城ホテルに招て歡迎會を開くと云ふ

●仁川會議所の決議

仁川商業會議所にては過日調査委員會にて決定したる等級別を廻文會議を以て各議員に配布し決議を請求せり

●政務總監夫人伺候

山縣政務總監夫人は渡來後未だ兩宮へ伺候せざりしが兩三日中に王家の御都合を伺ひたる上各殿下を訪問敬意を表する由

各地の工事狀況

朝鮮各地に於ける最近調査に係る工事狀況を示せば左の如し

▲京城閑散　大体本年の工事界は例年に比し閑散なるも而も今や既着の諸工事に在りては孰れも其の竣功を取急ぎ一方個人家屋の修繕も尠少ならざることとなれば土工、大工、左官等の需用漸々多く爲に賃銀の歩合增しを實行する向きなきにあらざるが如し△仁川不振　裁判所の建築工事は竣功を告げ稅關荷物檢査場、韓銀社宅、淨土宗寺院の各建築工事引續き進行しつゝあるに過ぎずして一般工事は依然不振を免れず△鎭南浦埋立　道路工事に於ては平南道路已に完成を告たれば續ひて廣梁灣に至る道路工事に着手すべく築港埋立も漸次進捗しつゝあり▲木浦閑散　一二の埋立工事と家屋建築の點々見受けらるゝに過ぎずして一般に閑散の狀態なれば需用尠少なく賃銀弱含みの方なり▲群山工事遲延　新に着手せられたる建築工事は群山裁判所の增築警察署長官舍等なり臨益北部水利工事は工事遲延せる上に水害の爲め多大の損害を被むりしも十月末日迄には落成の見込なり尚ほ本年は雨天多の爲め諸工事共一ケ月餘の遲延を來せる折柄土工人夫大工等不充分勝にて賃金十錢方騰貴せり▲馬山好況　馬晋間の道路工事市內橋梁架換工事鎭海灣軍港地工事等にて頗る活況を呈しつゝあり▲釜山進捗　天候の順調なるを得たる儘市內建築工事も相應活況を呈し釜山鎭及び絕影島薩摩堀の埋立工事等總て相應に進捗しつゝあり▲大邱盛況　十字道路の改修遊廓地に於ける諸建築其の他製粉會社の設立大邱音樂會の組織等同地各方面の發展に連れ諸種の建物勃興し工事界は益々活況を呈せり▲元山閑散　市內貫通大溝渠埋立工事も八月中着手せられ漸次進捗しつゝあれど概して尚は閑散を免かれず▲新義州盛況　雨季去り結氷季の近接し來れることゝて鴨綠江架橋工事は最も繁忙の域に向ひ從業の勞働者日々增加の狀態に在り裁判所其他の一二建築工事も九月上旬より着手せられたり▲安東縣進捗　安奉線鐵道工事は天候良好の結果着々進捗を告げ就中安東鷄冠山間の廣軌敷設工事は今や已に大部分落成し來る十一月三日には開通式を擧げ得らるゝ豫定なり

煙草會社の行惱

某銀行家談

朝鮮煙草會社が成立するかドウかとソンナ事を聞かれては僕も答辯に困まる併し該會社發起者中の發起者とも云ふべき大村保太君は當地銀行で株式應募の勸誘に勉めて居る、過日同氏が僕を訪ねて來て言ふのに煙草事業は有利だ會社は有望だと、仍つて僕は同氏に向かつて會社は何時成立するか株式申込の豫約はドーカと聞いた、大村君の答に曰く株式は創め各發起人が二百株づゝ引受けて公衆募集はせぬ筈であつたが發起人中種々の事情から最初の約束を取消す者が出來夫故今日では五十株七十株と希望者を見付けて豫約をして居る譯である、世間では平渡や松下なんどと事を共にするのは惡いと云ふが如何にも其通りで之は仕方がない理由があつて無餘儀提携した譯である、また廣江商會買收貫込の事も是非ソウせんければならんと云譯ではないと、僕が大村君から聞いたところに因れば創立委員長になる淺田正文がヤツて來るソウだ、思ふにアノ人が當地へ來て實地に煙草事業の有望でない事を知つたら今迄の樣にアノ人が熱心に會社の成立に盡力するかドウかは疑問だ、云々

●榊原參謀長の巡視

榊原朝鮮駐劄軍參謀長は總督を釜山迄見送り歸途釜山、大邱、金泉の各守備隊を巡視され十九日歸任の筈なり

●小松外事局長東上

寺內總督に隨行東上の筈なりし小松外事局長は用務の都合上一日遲れ十七日南大門發の夜行列車にて東上したり

●松永師團長の歸期

松永第二師團長は咸鏡方面巡視中の所廿日若くは廿一日歸任の筈なり

●世古檢事長危篤

京城控訴院檢事長世古祐次郎氏は過般來重患に罹り自宅に於て療養中の處經過不良にして昨今頗る危篤に陷られたる由なり

●商業學生の歸校

修學旅行中の京都商業學校生徒五十名は十七日午前九時南大門發列車にて歸途に着けり

●尹德榮子の東上

尹德榮氏は十七日午前九時南大門發東上せり

●宋畯秉子水原行

宋子爵は十五日午後水原に赴き一泊の上歸京せり

●加越能人郷友會

廿二日午後二時より和樂園に於て加越能出身者の郷友會を開くに付き出席せんとする者は十八銀行支店中西喜久雄氏迄通知すべし

●陶器販路の擴張

日本硬質陶器株式會社にては同社製品販賣擴張の爲め支配人箕浦恭五郎氏來京奔走中なり

●伊藤社長の出發

入京中の伊藤滿洲日々新聞社長は十七日南大門發の夜行列車にて新橋へ向つて出發したり

公人私人

▲桂五十郎（早稻田大學講師）十七日平壤より入京不知火館へ投宿
▲川上繁治（平壤手形組合理事）十七日平壤より入京三日月旅館へ投宿
▲中大路正雄（京義鐵道書記官）十七日釜山より入京巴城館へ投宿
▲掛井生治（鎭南浦韓銀支配人）十七日鎭南浦行
▲淺見忠治（釜山水道事務所技師）十七日釜山行
▲武井權介（東京高田商會支配人）十七日釜山行

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十月十八日	二五〇、九七一、六五	四七八

▲仁川米豆取引所▼

▲前場（十八日）十二月一節九圓六十錢二錢三錢四錢五錢六錢五錢四錢▲二節六十錢一錢二錢五十八錢六十錢五十九錢八錢七錢六錢▲三節六十錢五十錢三錢四錢三錢二錢一錢二錢五十錢二錢一錢▲出來高九千五百五十石

▲大阪期米電報▼

▲前場（十八日）十月限寄十五圓五十三錢止五十一錢▲十一月限寄五十八錢止五十二錢▲十二月限寄六十一錢止五十二錢
▲後場（同上）十月限寄十五圓四十六錢止卅九錢▲十一月寄四十四錢止四十一錢▲十二月寄四十九錢止四十一錢

▲仁川商況（十月十七日）▼

▲玄米　本日入津陸揚したるは海州白川取纏せ八十八俵と八十六叺外に地搗玄米六十四叺にて相場は數日來なりの弱氣を續け海州裸の十一圓白川叺込十一圓と十圓六十錢と二た口に出來地搗米叺込十圓五十錢にて手合せ出來たり▲新白米　本日入津したるは忠淸及黃海物合せて七百二三十の入津にて相場は軟弱の姿にて忠淸物六叺十一圓五十錢十七叺十一圓四十錢江華物十叺十一圓五十錢海州十叺十一圓七十錢平澤約四百叺十二圓五十錢鳥山約二百七八十叺十二圓にて手合せ出來たり▲新籾　入津したる忠淸海州合せて三百二三十俵の入津にて相場は忠淸物九十俵四圓三十錢と四圓十錢にて手合せ出來其餘は午前中には手合せ出來ざるも玄白米の强含に連れ四圓四五十錢見當なるべし△大豆　滿州平澤通津長端合せて二百四十八叺と三十俵の入津にて其相場は平澤四十二叺叺込七圓三十五錢通津四叺裸七圓海州二十六叺込七圓十錢長端十七叺七圓十錢水原七圓十錢長端上物七圓六十錢にて手合出來たり▲小麥　海州百八十俵の入津相場は裸の六圓二十錢にて手合出來たり▲白栗　海州もの十六俵入津相場七圓六十錢にて手合出來たり▲荏子實　忠淸もの約四百叺相場は十圓現當なれども午前中には手合出來ざりき

▲仁川米豆取引所▼

▲後場（十八日）十二月一節九圓四十七錢三錢二錢四十錢二錢四十一錢二錢三錢四錢五錢▲二節四十錢三十九錢八錢七錢五錢四錢三錢二錢三十錢二十九錢三十錢一錢二錢三錢二錢▲三節三十一錢三十錢二十九錢八錢七錢六錢八錢九錢三十錢二十九錢三十錢一錢二錢▲出來高九千石

▲仁川港の出入船舶▼

▲薩摩丸　十九日神戶より入港
▲音羽丸　同橫濱より入港
▲津州丸　同橫濱より入港
▲薩摩丸　同午後九時大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　十七日の分如左
乘車客　八八七　下車客　八四〇
乘車賃金　二二一、一四
▲南大門荷物扱高　十七日の分如左
發送　一二一噸　到着　二〇五噸
發送賃金　一一三二、七九
▲龍山驛の乘降客　十七日の分如左
乘車客　二五八　下車客　二〇九
乘車賃金　二六六、五二
▲龍山驛荷物扱高　十七日の分如左
發送　二二噸　到着　四六噸
發送賃金　一〇三、五三

▲海外漫錄▼

去る十六日我主上親臨橫須賀に於て戰艦河內の進水式があつた、河內は現在世界最優艦種の一、我海軍の誇りとすべきものだ▲南米アルヘンチナの獨立祭へ參列した我生駒が近日歸つて來る、某外人曰く生駒今度の經驗は一朝有事の日に日本海軍が米國大西洋岸州を侵し得べきことを證據立てた、思ふに米國海軍の有識者は生駒に因つて豫期せざる教訓を受けた筈だ、而らば今後日米間は益親善の度を加ふべきか▲上村艦隊は鎭海灣で大演習をヤツた、鎭海灣は東郷大將に因つて名を擧げた東洋第一の軍港だ、我艨艟にして玆に蟠居せば神洲の安き泰山の如しだ▲進興鎭海灣へ今度軍港が出來る、名けて縣洞と云ふとか、此縣洞將來に於ては佐世保、舞鶴を壓倒して必ずや大市街とならん、すテ此大市の市政は誰がヤルか▲外國では軍港地帶都市の市政を海軍でヤツて居るところが幾らもある、英のマルタ米のメーヤアイランド等が乃ちソレだ▲最近淸國外務部が吉林陳巡撫に下したる訓令は奇怪千萬なものだ、曰く朝鮮人は箕子の後裔なり、彼等にして若し愛國の至情より淸國に歸化を請ふものあらば宜敷之を許可して愛撫に勉むべしと、之れではマルで淸政府が我帝國に敵意を示す譯だ▲寺內總督が東上の日取を繰上げたのは內閣が陸軍の豫算編成上總督を要する爲めだソウだ、ナニ近々專任總督が出來ると、ソンナ必要がドコにあるか▲德富蘇峰內地では遉がに京城日報を總督府の所有物だと云はず、只自分以外或者の所有だと云つて居る、御用新聞屋には舌が何枚もあるか▲蘇峰と云へば彼れ近頃株で大損をして國民新聞を人手に渡したソウだ、仲買富倉の帳面を見れば此事の一部始終が判る、サテ橫井時雄の親類だけにトウ〳〵馬脚を出した▲同業鎭南浦新報から平南鐵道開通の紀念繪ハカキを送つて來た、一見如何に同港の價値が上がつたかが知れる。

毒婦奥村さめ

去る十三日の紙上より引き續き掲載の筈なりしが少しく都合あり休載せしも今は差支へも除かれたれば本日より連載することゝせり

山縣樓に住替へたるさめは寡婦の本性を發揮し幾何もなく樓主陰みを實行して長谷川町一丁目の料理店絹川樓てと通稱番司竹事本室竹次郎方に鞍替へし娼法に出精中或る廉に依り引致されしものなるも右は差支への點あるに依り後日報道することゝし彼れが生ひ立ちに付きて記さんに前にも記載せし如くの淫奔女とて既に十四歳の夏小料理店の酌婦に住み込みたり十六歳の六月小倉の博徒松吉と稱する者と共謀し前借六十餘圓を踏倒さんと計畫し一寸自宅迄とて暇を取り家出せし儘歸り來らぬより樓主は親許なる足立村奥村辰造に照會せしに何の便りもなしとの事にさては逃げられしかと諸所に手を廻し搜したるも一向行衛不明なるより一方親元にても何處に行きしかと心配なし居りぬ然るにさめは松吉と手に手を取りて朝鮮は釜山港に渡りて一時は下宿屋に潜み居りしも永遠に遊ぶ譯にも行かず口入屋の手にて松吉は釜山港琴平町料理店京坂亭の帳場として入込みさめは同港牧の島町料理店滿月亭に酌婦として前借金七十圓にて花子と名乘り盛んに五十錢一圓の切り賣りに從事中天罰は覿面梅毒に罹り首も廻らぬ借金となりしにぞ如何にかして前借を踏み倒し足拔きせんと惡策を講じ相手が情夫の松吉にては都合惡しと幾多の客中惡計に乘る人物をと思案の末岡地南[illegible]

[illegible]さまざと云ふより樓主は伊三郎が正直男で岡達亭の信用ある事は知り居る事をきゝてさてこそと其儘直に伊三郎と共に滿月樓の前借金百五十圓餘を踏み倒し機會を狙り來て大連へ向け出發したり（つゞく）

不埒な金貸業者

▽事實なれば嚴罰せよ

高利貸業者が朝鮮人相手に慘酷なる手段を弄し鮮人を悲境に陷入らしむる事は屢々耳にする處なるが玆に當地黃金町に住む**中野**友次郎なるものは朝鮮人相手に高利貸しに從事し居る者の由にて現今にては資金も增加し紳士然と威張り居るとの事なるが彼が本年八月京城水下洞十六統一戶李某に對し金百圓の貸與契約を結び現金**七十圓**を渡し三十圓を利息及手數料として差し引き百圓の證書を取り十月六日**返濟期日**なるより催促に行きしに本人は不在にして實母一人なりしを奇貨とし實は當家息子に金百圓動產抵當にて貸與しありて本日期日に付支拂出來ざれば**動產を運搬**す可し若し承諾せざれば告訴して懲役にやると云ひ實母は翌七日迄延期を求めしにぞ一應承諾して翌七日**人夫**十名餘を引連れ嚴談せしに實母ども連帶にて證書差入れる事となり**百六十圓**の證書を受取り十四日限り支拂ざれば動產を賣却すべしと特約せし由なるが果して事實とすれば不埒と云ふ可し當局者より相當の說諭を求む

薄情な朝鮮亭主

▽頗る甘い日本婦人

一昨日午後七時頃年齡四十位の婦人乳呑兒を負ひ仁川警察署に保護を願出でしより取調べたるに此の者は佐賀縣佐賀郡久保田村字德田原田佐次郎姉よし（三二）と云ふ者にて昨年龍山桃山遊廓某樓に雇はれ居る中隣家の雇人なる仁川生李盛三（二二）と云ふ鮮人と乙な中となり本年四月兩人共仁川へ赴き新市場脇に一家を借り新世帶を持ち樂しく暮し居たるに李は豫てよしが貯へ置きし三十圓の金を資本に何か商法を營まんと同人を欺き其金にて二十歲位なる韓人新婦を迎へ別に一家を持たせ置きよしを放逐せんとし虐待を爲し碌々食事も與へざるより如何とも堪へ難くいつそ歸國せんとせしも金は取られて旅費の出來樣もなく他に知人もなき事とて李の無情を恨み保護を願出たる事と判明し直に李を呼出し懇々其不心得を說諭し同人を引渡せり

▲仁川商況（十月十七日）

▲玄米　本日入津[illegible]

[illegible]と二十九口に出[illegible]地摺米[illegible]にて手合せ出來たり[illegible]入津したるは忠清及黄[illegible]三十叺の入津にて相場[illegible]忠清物六叺十一圓五十錢十七叺十一圓四十錢江華物十叺十一圓五十錢海州十叺十一圓七十錢平澤約四百叺十二圓五十錢鳥山約二百七八十叺十二圓にて手合せ出來たり

▲新籾　入津したる忠清海州合せて三百二三十俵の入津にて相場は忠清物九十俵四圓三十錢と四圓十錢にて手合せ出來其餘は午前中には手合せ出來ざるも玄白米の强合に連れ四圓四五十錢見當なるべし

▲大豆　海州平澤通津長端合せて二百四十八叺と三十俵の入津にて其相場は平澤四十二叺叺込七圓三十五錢通津四叺裸七圓海州二十六叺込七圓十錢長端十七叺七圓十錢水原七圓十錢長端上物七圓六十錢にて手合出來たり

▲小麥　海州百八十俵の入津相場は裸の六圓二十錢にて手台出來たり

▲白米　海州もの十六俵入津相場七圓六十錢にて手台出來たり

▲荏子實　忠清もの約四百叺入荷相場は十圓現當なれども午前中には手合出來ざりき

▲仁川米豆取引所▼

▲後場（十八日）　十二月一節九圓四十七錢三錢二錢四十錢二錢四十錢一錢二錢三錢四錢五錢▲二節四十錢三十九錢八錢七錢五錢四錢三錢二錢三十錢二十九錢三十錢一錢二錢三錢二錢▲三節三十一錢三十錢二十九錢八錢七錢六錢八錢九錢三十錢二十九錢三十錢一錢二錢▲出來高九千石

鮮人の狂言自殺

▽多量の出血で中止

[illegible]六統七戶朴宗淵（四七）は[illegible]め昨年一月頃知人尹永[illegible]兩名を保證人に賴み漢城[illegible]一千二百圓を借り營業[illegible]敗して到底回復の見込付[illegible]れの取付けを恐れ財產を[illegible]として保證人に該債務を[illegible]で銀行は朴が期限に至るより保證人兩名に請求[illegible]は非常に立腹し居たるに[illegible]ずも龍山倉前里二十七統[illegible]を出會したるより此所[illegible]は其不都合を詰責せしよ[illegible]めとて十七日の午前五[illegible]イフを以て自殺せんとて[illegible]寸余深さ四分程切りしも[illegible]く思ひ止まりし由なる[illegible]しみし狂言なるべしと

仁川水道通水式

▽愈々來る三十日擧行

仁川水道通水式は十五日協議會を開き賓客の接待餘興の場所決定せり當日は京龍の賓客は南大門午前八時十分發列車にて仁川よりは同八時五分發にて覺梁津に着し松田所長の案內にて水源地設備等說明に次で茶菓の饗應あり終つて一同零時十分同所發にて同一時十分狃峴驛著式は松林山に於て擧行し役民團有志の催に係る模擬店の饗應、覺梁津請負師淺松太郎氏の寄附繪葉書の配布あり午後五時十分狃峴發列車にて歸京する由因に餘興の場所及び品名は左記の通り

▲場所　日本公園、本町四丁目淺井病院前空地、仲町故一山樓跡、狃峴驛附近に各一ヶ所

▲餘興品名　小野道風（造物）水藝（官女、住吉踊、廻り行灯、國旗噴水機械体操、大噴水

頗る甘い亭主殿

▽姦通しても女房は可愛い

北部齋洞徐相根は妻丁姓女（二四）が北部桂洞九統十戶崔錫敏方同居庭鐵衛（二八）と十月十五日午前十二時頃中部水門洞九十二統七戶吳亭善方に於て姦通したる事を北部署に告訴し取調の結果姦夫姦婦は自白に依り檢事局に送られる事になりしに徐相根は妻迄懲役にやる意思はなく姦夫丈けにして下さる樣最愛の女房を罪する事は出來ぬから二人共なら告訴を取下げますからと嘆願せしも朝鮮人に對する當該法律は親告罪にあらざるを以て取下げ出來ぬとの事に淚を流して引き取りたりと

●**敗訴を苦にし自殺**　京城中部長通坊水標橋通り七十七統十戶旅舘營（三七）は昨年九月より南部水下洞居住崔錫啓より貸金請求の訴訟を提起され同人の敗訴と決定したる結果本月六日京畿道高陽郡黃黑面にある自己所有の不動產に對し强制執行され近々競賣されるに至りしを悲觀して十七日午前二時頃自宅に於て阿片を服用自殺せり

●**代書料金を拐帶**　岡山縣赤磐郡小野田村爵田千三十八番戶平民吉野吉德（二四）は大邱北門外四番町代書業三好章二なる者の事務員として九月三十日迄勤め居たるが本月一日代書料及集金したる講金合計二十五圓餘を橫領し逃走行衛を晦し居りたるより被害者三好より告訴提起に付大邱警察署は各署に夫れ〳〵手配せしを以て南部署に於ても犯人搜查に從事中の所吉野は本月一日京城に來り壽町二丁目下宿屋雲島旅館に神戶市荒田町一丁目伊藤雪雄と僞名し宿泊潜伏し居る事南部署岸刑事の探知する所となり本署に引致取調の結果昨十八日檢事局に送らる

崔有（四三）は消防從事中燒傷せりと

●**鞄の持主は誰か**　東部管內元山街道大水溝畔に於て手折り鞄一個（金子若干及證書類入り）日本人用を拾得屆出しに付心當りの者は東部署に申出づ可しと

●**栗鼠泥棒を捕ふ**　東部崇信坊樊里洞十九統九戶金景道（三一）は十月八日同所十一統五戶米穀商崔秉彥方に忍び入り栗鼠十九斤餘（代十圓四十錢）を竊取したるが東部署に探知され檢事局に

●**迷兒のワン〳〵**　仁川寺町三丁目九番地山田春三郎は一昨日午後五時頃茶色中形の洋犬が附近の犬に追はれ同人宅へ逃來りしより保護し食事を與へたるに其儘立去らざるより飼養し置く由屆出たり

●**迷兒のツルさん**　十七日午前六時頃仁川觀測所の庭へ一羽の丹頂何處よりか飛び來り居るを發見し屆出たるより心當りの者は警察署へ申出づべしと

●**敷島遊廓**　十七日の遊客は三十名散財金は九十七圓〇八錢なり

●**メソヂスト教會**　旭町二丁目なる同教會に於て來る十九日（水曜）午後七時半より左の集會あり

『感謝說教會』　デビソン博士、白石良作君、筧光顯君、橫山霽霞子

●**大年增の泥醉者**　本町九丁目竹崎喜三郎方雇尾すね（四〇）は十七日午後十一時頃何所でか泥醉して本町三丁目總屋裏通り鴨川雜貨店に至り酒を飮せよと要求せしも何分前後不覺に付店員より歸宅を促したるに種々なる暴言を吐き且つ店頭に數回不潔物を吐き何時迄も歸らぬより說諭困出に因り本町派出所に引致覺醒の上說諭放還

●**鮮人の自殺未遂**　漢江十八統三戶成在顧（四二）は生活に困難なる爲め自殺せんと苛性曹達を溶解して服用したるも死に切れず苦しみ居る內に發見され警察へ屆出たるより警醫出張し下劑を與へたれば生命には別條なしと

●**兒獅子二匹輸入**　京都市紀念動物園で生れた兒獅子四頭の內牝牡二頭は今回愈々金三千五百圓にて京城南大門通有竹銀次郎が買取る事となり去る十四日の市參事會にて右可決したるが尤も鈴鹿投手の哺育せる兒獅子は當分賣却せざる由

●**日鮮語と淸語**　京城西大門外中學校建築工場岡田組職人愛知縣人宮本高三郎（三〇）は十七日午後九時三十五分頃長谷川町二丁目五十三番戶前國人吳細弟方に至り同家の雇人と言語の行違ひより喧嘩を爲し說諭

●**西部管內の失火**　十六日午前十時半頃西部盤松坊李判洞百六十四統極樂庵住僧崔敬（三四）方より出火燒失したるが損害約二百十圓餘にして下男朴

目と耳（十九日分）

▲**浪花館**　若遊三一座の代番組如左

明石名所（若三郎）歌根問（遊枝）金明竹（若明）のしの由來（奨三）たいつ子（遊喬）稽古屋音曲盆衣紋流し（圓三）新劇每晚替り（座員總出）七段目三府音曲各種、若遊三）和洋合奏ヴアイオリン越後獅子（蘆雪）早替所作事電氣應用踊くみ（若遊三）

▲**壽座**　浪花節芝居備前家一座にして藝題「筒井政談野狐三次傳」大序より大詰迄全七場重なる配役左の如し

野狐三次（桃中軒京之助）筒井伊賀守井筒屋善次郎（日本亭自樂）れ糸小花（中村昇花）牛松（市川三津之助）橋屋小倉（廣澤多見吉）

▲**歌舞伎座**　代り狂言は「袖時雨」全十三場にして重なる役割左の如し

遠山市造（五味）遊人銀次（一二三）川瀨靜代（小神）會生山崎武夫（河野）武夫母れい（小西）遠山藏夫（谷）署長須賀野、裁判長川村（淺井）柳井辯護士（靑山）川瀨純一（泉）遠山春子（錦）

▲芻民文庫▼

▲中學校書記某樣內商人某との間に醜關係あり云々の投書ありたり其の向の調査監督を希望す（保）▲本月十四日午後度支部司稅局階上帽子掛に在りし黑中高帽を取違へし仁は至急舊位置に御返戾あらんことを忠告す本人は非常なる迷惑を感じつゝあり（氣の毒生）▲二十五歲女に答ふ面會し上御相談に應ず御來訪を乞ふ（光化門通り法學校內秋山）▲米倉生君の深厚なる同情を感謝す、其の全文を掲記することの死屍に鞭つが如くなるを以て忌避するの已むを得ざるを憾み申候（係▲去る七日の本欄に○橋君が中の新地開盛樓の芳子と夫婦約束をしたとか云ふ事が出て居たが○橋君の如き着實なる人が此樣な女に關係することと既に惡いのに……前身を探つて見玉へ（注告生）▲某役所及某警察囑託獸醫が居牛營業者を恐喝して小使錢を取りたるは何人かの中傷の如く友人なる人より辯護ありしが中傷的であるか將た事實であるか是れを民長と署長に聞くべし營業者の名前まで委しく知れますよ（さい）▲斯う云ふ謎の如なことを云はず知つて居るのなら判然と書いて吳れたら宜しからうに（一小僧）▲至急上女中入用委細直接面談すべし（北米倉町日本旅館）▲北米倉町長笑亭の娘さん南大門通り三丁目支那劇場前の淸人とのた這茶つるイヤハヤ見上げたものでムる（故心生）▲軍人又は警察官なりし人にして確實なる保證人を當地に有する仁**事務員**として市內の會社に**周旋**したし履歷書封入下名宛郵送されたし多忙なれば面談を謝絕す返信料添附すべからず面談を要する向へは當方より通知申す（社內高木）

今日の運勢

十月十九日舊九月十六日

●七赤●赤口●丁巳●危△一白　新事及更易の事に忌む其他進んで吉●疾病衞生に留意の事△二黑　家族の事煩累あり其他快欣の日大凡吉△三碧　鬪違ひ易き日とす諸事謹愼の事色情の破れを戒しむ△四綠　盜難橫領防ぐべし其他厄運日諸事手控への事△五黃　貸借保證取引間違易し他は總じて吉△六白●賣買取引貸借金談に吉設計旅行相談日論見講案に忌む△七赤　新事見合せの事談合婚談證券不動產の事尤も忌む△八白　親疎のため失費煩累多き日なり尙設計相談婚談貸借見込なし△九紫●新事旅行見合せの事紛爭不和色情の破れを戒しむ（三一館判斷）

移轉廣告

從來南山町三丁目に於て裁縫割烹の教授罷在候處生徒の增加と共に教場手狹と相成り萬事に不便不尠候間今回

肩書の處に移轉仕候此段謹告候也

御新教場は理想的設備をなし益々斯業に勉勵仕候間此際入學御希望の方は何時にても教則等送呈可仕候尤も二錢郵券添付御申込被下度候

京城 **大平町二丁目**（神田組前）

裁縫 割烹 **教授所**

野村サワ

事務所 京城鐘路通一丁目八番戶の一（光化門郵便局横町）（電話四九一番）

辯護士 大崎熊之丞

事務所 仁川山手町二丁目（電話七〇八番）

出張事務所 忠淸北道淸州南門內 咸鏡北道淸津壽町三丁目

丸山醫院開業

診療時間 自午前八時至午後九時

急病患者は何時にても診療す

京城南大門外吉野町一丁目五番戶

院長醫學得業士 **丸山白**

●看護婦見習生募集

定期米

賣 ㋮ 買

仁川米豆取引所仲買人

仁川本町四丁目佐藤病院隣

廣澤正次郎

電話一七〇番

三一館

人相骨相●歸納的推理の一科學性情●銳鈍能否其他相對絕對の全運命を豫斷す易●萬世不易の大經也洽く人事の煩數を斷決す

京城本町五丁目

異理 推斷

通信判斷 易一圓 特別二圓 年齡事項目要 人相二圓 特別五圓 年齡寫眞要

世帶道具は何でも有り升

外に宅ノ酩酒手ヨリ白米、和洋ローソク上白シメ油、㊙醬油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨 **御問屋** 京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話二百十番 電略（ニカ）又ニ

振替貯金口座韓國七番

資本金五百萬圓積立金百七十三萬圓

横濱火災海上運送信用保險株式會社

京城事務所 南大門通三共益社電話六九四

☞ **御用心なさい。だまされますぞ** ☜

アイボリー石鹼の購買法

一包裝……表面に斜に日本文字で「アイボリー石鹼」と入れてありますから小供にも見わけがつきます

一商標……三日月に星の繪がかいてあります

一石鹼の色……白色ですけれど象牙色です、豆腐の樣に白いのは眞正の「アイボリー石鹼」でありませぬ

一形……二ツつなぎですから、切つて使用になれば便利です

一無味無臭……少しも「アルカリ」性分を含まないからいやな味も臭もありません

一浮石鹼……の元祖です、夫れに泡立つことは他の石鹼より多くて使用の後洗ひ氣持がさつぱりします

一販賣店……化粧品店、藥店、雜貨店、どこにも賣つています

アイボリー石鹼の鑑別法

☞ **新 荷 着** ☜

廣告

今般弊工場に於て製造せる最新式蒸溜風呂は（クサマキ）角形にして銅製釜鐵製の二種あり高尚優美且つ堅牢なるは勿論湯沸時間は約三十分にして入浴するを得薪炭の經濟なる未だ嘗て其の比を見ず希願くは續々御來店の榮を賜らんことを尙御注文に應じ何れの形にも調製可仕候

洋家具製造販賣 室內裝飾業

京城府本町三丁目

森安吉商店

電話四三〇番

明法學士

京城裁判所西隣

仁川仲町三ノ八（タウセンド筋向）（電話七〇二番）

北島靜法律事務所

龍山元町二丁目（電話一〇發番）

佐藤病院

院長診察每日午前 自七時至正午

胃腸病診療

院長診察每日午後 自三時至五時

龍山郵便局北隣（電話四〇八番）

佐藤病院出張所

義齒全般

京城明治町三丁目

吉崎文作

電話九四二

移轉御披露

弊館儀各位の御引立により日增隆昌の域に赴き候段從前の家屋にては手狹を感じ候ましゝ今般業務擴張の爲め南山町四丁目（花月上隣）の新築家屋に移轉仕り候間此段廣告仕候也

京城南山町四丁目（花月上隣）

金澤旅館

電話一八一番

●上女中至急入用御來談ありたし

義齒術全般

龍山元町二丁目

飯田健太郎

電話

開店廣告

最新 **流行繪葉書種々**

今般左記の所に於て繪葉書店開始仕り特別廉價を以て販賣致候に付續々御用命仰付被下度奉願上候

尙は御好みに應じ寫眞撮影の上繪葉書と致差上可申候

仁川宮町二丁目

虹松堂 福田曉

御用の御方は電話五〇九番に御懸を願升

義齒術全般

京城永樂町一丁目

永田正二

電話一四三二番

[illegible]

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐アシン　穀物食鹽　[illegible]料類

要經販賣

東京サンバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田合名會社代理店

藤田合名會社

東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地電新橋三六九二

義齒全般

龍山大島町

加藤民重郎

冬物聯合大賣出

來る二十日より二十六日まで

現金の御買上げは限り金高相當の御添物進呈可仕候

●見切反物に並よせ切類は御添物無之候

山口呉服店 京城本町四丁目 電話九番

山枝呉服店 京城本町五丁目 電話二二四番

圓城呉服店 京城本町三丁目 電話一五七番

惠阪呉服店 京城本町二丁目 電話七二六番

末永呉服店 京城本町四丁目 電話六八二番